

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公表番号】特表2017-521898(P2017-521898A)

【公表日】平成29年8月3日(2017.8.3)

【年通号数】公開・登録公報2017-029

【出願番号】特願2016-568969(P2016-568969)

【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 74/02 (2009.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

H 0 4 W 72/10 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 72/04 1 3 1

H 0 4 W 74/02

H 0 4 W 84/12

H 0 4 W 72/10

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月23日(2018.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のソフト時分割多重化(TDM)割当てフィールドを備える信号を送ることと、ここにおいて、各ソフトTDM割当てフィールドが、

ノードがそれらの優先度レベルに従って特定のタイムスロット中に通信することを許可する接続情報を搬送する、ここにおいて、前記接続情報は、少なくとも、どのノードがノードのグループに割り当てられるかを識別する情報を含む局グループフィールド、およびグループフィールドごとの拡張分散チャネルアクセス(EDCA)パラメータのセットを備える、

ように構成され、

前記接続情報は、少なくとも 1 つのタイムスロット中に通信するノードの第 2 のグループの第 2 の優先度レベルとは異なる第 1 の優先度レベルにおいて前記少なくとも 1 つのタイムスロット中に通信するためにノードの第 1 のグループに搬送される、

前記第 1 の優先度レベルにおいて前記少なくとも 1 つのタイムスロット中にノードの前記第 1 のグループからの少なくとも 1 つのノードと通信することとを備える、ワイヤレス通信のための方法。

【請求項 2】

拡張分散チャネルアクセスパラメータの前記セットが、ノードの各グループのための最小競合ウィンドウサイズと、最大競合ウィンドウサイズと、アービトラションフレーム間スペース数と、送信機会とのうちの 1 つまたは複数を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記接続情報がさらに、前記少なくとも 1 つのタイムスロットのための開始時間フィールドおよび持続時間フィールド、または前記少なくとも 1 つのタイムスロットのための開始時間フィールドおよび終了時間フィールドを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

ノードの各グループ中の少なくとも 1 つのノードが、前記少なくとも 1 つのタイムスロットの境界において実施されるバックオフ動作に関連するバックオフタイマーを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記信号が、

前記ソフト TDM 割当てフィールドのうちの前記少なくとも 1 つ中の前記接続情報に少なくとも部分的に基づいて前記バックオフタイマーを更新することと、

少なくとも前記少なくとも 1 つのタイムスロットの初めにおいて前記バックオフタイマーをリセットすることとを行うようにノードの各グループ中の前記少なくとも 1 つのノードに指示する少なくとも 1 つのバックオフ動作ルールを備える、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

通信する少なくとも 1 つのノードは、前記少なくとも 1 つのノードがその間に通信しているタイムスロットの境界において実施されるバックオフ動作に関連する複数のバックオフタイマーを備え、各バックオフタイマーが、反復スケジュール中の特定のタイムスロットに関連する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記信号は、

前記少なくとも 1 つのノードがその間に通信している前記反復スケジュール中の各タイムスロットの終わりににおいて前記関連するバックオフタイマーを休止することと、

前記少なくとも 1 つのノードがその間に通信している前記反復スケジュール中の次の後に生じるタイムスロットの初めにおいて前記関連するバックオフタイマーを再開することとを行うように前記少なくとも 1 つのノードに指示する少なくとも 1 つのバックオフ動作ルールを備える、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

通信する少なくとも 1 つのノードは、前記少なくとも 1 つのノードがその間に通信している 1 次タイムスロットの境界において実施されるバックオフ動作に関連する 1 次バックオフタイマーと、前記少なくとも 1 つのノードがその間に通信している 2 次タイムスロットの境界において実施されるバックオフ動作に関連する 2 次バックオフタイマーとを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記信号は、

前記少なくとも 1 つのノードがその間に通信している 1 次タイムスロットの終わりににおいて前記 1 次バックオフタイマーを休止することと、

前記少なくとも 1 つのノードがその間に通信している次の後に生じる 1 次タイムスロットの初めにおいて前記 1 次バックオフタイマーを再開することとを行うようにノードの各グループ中の前記少なくとも 1 つのノードに指示する少なくとも 1 つのバックオフ動作ルールを備える、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記信号は、

前記少なくとも 1 つのノードがその間に通信している各反復 2 次タイムスロットの初めにおいて前記 2 次バックオフタイマーをリセットするようにノードの各グループ中の前記少なくとも 1 つのノードに指示する少なくとも 1 つのバックオフ動作ルールを備える、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

複数のソフト時分割多重化 (TDM) 割当てフィールドを備える信号を送るように構成されたソフト TDM 割当て構成要素を備え、ここにおいて、各ソフト TDM 割当てフィールドが、

ノードがそれらの優先度レベルに従って特定のタイムスロット中に通信することを許可する接続情報を搬送する、ここにおいて、前記接続情報は、少なくとも、どのノードが

グループに割り当てられるかを識別する情報を含む局グループフィールド、およびグループフィールドごとの拡張分散チャネルアクセス（EDCA）パラメータのセットを備える

—

ように構成され、

前記接続情報は、少なくとも１つのタイムスロット中に通信するノードの第２のグループの第２の優先度レベルとは異なる第１の優先度レベルにおいて前記少なくとも１つのタイムスロット中に通信するためにノードの第１のグループに搬送され、

前記ソフトＴＤＭ割当て構成要素が、前記第１の優先度レベルにおいて前記少なくとも１つのタイムスロット中にノードの前記第１のグループからの少なくとも１つのノードと通信するようにさらに構成される、ワイヤレス通信のための装置。

【請求項１２】

コンピュータ記憶媒体を含むコンピュータ可読媒体であって、前記コンピュータ記憶媒体は、実行されたとき、請求項１～１０のうちのいずれか一項に従った方法をコンピュータに実施させる命令を備える、コンピュータ可読媒体。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１４８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１４８】

[0161]本開示についての以上の説明は、当業者が本開示を作成または使用することができるように提供されたものである。本開示への様々な修正は当業者には容易に明らかとなり、本明細書で定義される一般原理は、本開示の範囲から逸脱することなく他の変形形態に適用され得る。本開示全体にわたって、「例」または「例示的」という用語は、一例または一事例を示すものであり、言及された例についての選好を暗示せず、または必要としない。したがって、本開示は、本明細書に記載された例および設計に限定されるべきでなく、本明細書で開示された原理および新規の特徴に合致する最も広い範囲を与えられるべきである。

以下に本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

【Ｃ１】

１つまたは複数のソフト時分割多重化（ＴＤＭ）割当てフィールドを備える信号を送ることと、ここにおいて、前記ソフトＴＤＭ割当てフィールドのうちの少なくとも１つが、少なくとも１つのタイムスロット中に通信するノードの第２のグループの第２の優先度レベルとは異なる第１の優先度レベルにおいて前記少なくとも１つのタイムスロット中に通信するためにノードの第１のグループに接続情報を搬送するように構成される、

前記第１の優先度レベルにおいて前記少なくとも１つのタイムスロット中にノードの前記第１のグループからの少なくとも１つのノードと通信することとを備える、ワイヤレス通信のための方法。

【Ｃ２】

前記接続情報が、前記少なくとも１つのタイムスロット中に通信するノードの各グループのための識別データと、前記少なくとも１つのタイムスロット中に通信するノードの前記第１のグループおよびノードの前記第２のグループのうちの少なくとも１つのための拡張分散チャネルアクセスパラメータのセットと、前記少なくとも１つのタイムスロットを識別するタイムスロットパラメータとのうちの１つまたは複数とを備える、Ｃ１に記載の方法。

【Ｃ３】

前記識別データが、ノードの１つまたは複数のグループ中の１つまたは複数のノードに関連する識別コードと、ノードの１つまたは複数のグループ中の１つまたは複数のノードに関連する識別コードの範囲と、ノードの１つまたは複数のグループのためのあらかじめ定義された識別コードのインデックスとのうちの少なくとも１つを備える、Ｃ２に記載の

方法。

[C 4]

拡張分散チャネルアクセスパラメータの前記セットが、ノードの各グループのための最小競合ウィンドウサイズと、最大競合ウィンドウサイズと、アービトラージョンフレーム間スペース数と、送信機会とのうちの1つまたは複数を備える、C 2に記載の方法。

[C 5]

前記タイムスロットパラメータが、前記少なくとも1つのタイムスロットのための開始時間および持続時間フィールド、または前記少なくとも1つのタイムスロットのための開始時間および終了時間を備える、C 2に記載の方法。

[C 6]

前記ソフトTDM割当てフィールドのうちの前記少なくとも1つが、拡張分散チャネルアクセスの動作チャネルを識別する情報と、前記少なくとも1つのタイムスロット中に指定されていないノードによって使用されるべきデフォルト拡張分散チャネルアクセスパラメータと、前記少なくとも1つのタイムスロットとは異なる第2のタイムスロット中にノードのグループごとに使用されるべき拡張分散チャネルアクセスパラメータと、いずれかの指定されたタイムスロットの外部でノードによって使用されるべきデフォルト拡張分散チャネルアクセスパラメータとのうちの1つまたは複数を備える、C 2に記載の方法。

[C 7]

前記ソフトTDM割当てフィールドのうちの前記少なくとも1つが、ビーコン、プローブ要求メッセージ、プローブ応答メッセージ、関連付け要求メッセージ、または関連付け応答メッセージのうちの少なくとも1つにおいて送られる、C 1に記載の方法。

[C 8]

前記少なくとも1つのタイムスロットが、反復スケジュール上でそれぞれ繰り返す複数のタイムスロットを備え、前記ソフトTDM割当てフィールドのうちの前記少なくとも1つが周期性情報を備える、C 1に記載の方法。

[C 9]

前記ソフトTDM割当てフィールドのうちの前記少なくとも1つが、あらゆる周期中の各タイムスロット中に通信するようにスケジュールされたノードの複数のグループのうちの少なくとも1つに、あらゆる周期中のそのタイムスロットに関連する前記接続情報を搬送する、C 8に記載の方法。

[C 10]

前記信号が、あらゆる周期中の各タイムスロット中に使用すべきノードの1次グループとノードの2次グループとのための共通拡張分散チャネルアクセスパラメータを備える、C 8に記載の方法。

[C 11]

各ソフトTDM割当てフィールドが、ノードの前記1次グループとして前記共通拡張分散チャネルアクセスパラメータを使用すべきノードと、ノードの前記2次グループとして前記共通拡張分散チャネルアクセスパラメータを使用すべきノードとを識別する、C 10に記載の方法。

[C 12]

ノードの各グループ中の少なくとも1つのノードが、前記少なくとも1つのタイムスロットの境界において実施されるバックオフ動作に関連するバックオフタイマーを備える、C 1に記載の方法。

[C 13]

前記信号が、

前記ソフトTDM割当てフィールドのうちの前記少なくとも1つ中の前記接続情報に少なくとも部分的に基づいて前記バックオフタイマーを更新することと、

少なくとも前記少なくとも1つのタイムスロットの初めにおいて前記バックオフタイマーをリセットすることとを行うようにノードの各グループ中の前記少なくとも1つのノードに指示する少なくとも1つのバックオフ動作ルールを備える、C 12に記載の方法。

[C 1 4]

通信する少なくとも１つのノードは、前記少なくとも１つのノードがその間に通信しているタイムスロットの境界において実施されるバックオフ動作に関連する複数のバックオフタイマーを備え、各バックオフタイマーが、反復スケジュール中の特定のタイムスロットに関連する、C 1 に記載の方法。

[C 1 5]

前記信号は、

前記少なくとも１つのノードがその間に通信している前記反復スケジュール中の各タイムスロットの終わりににおいて前記関連するバックオフタイマーを休止することと、

前記少なくとも１つのノードがその間に通信している前記反復スケジュール中の次のその後に生じるタイムスロットの初めにおいて前記関連するバックオフタイマーを再開することを行うように前記少なくとも１つのノードに指示する少なくとも１つのバックオフ動作ルールを備える、C 1 4 に記載の方法。

[C 1 6]

通信する少なくとも１つのノードは、前記少なくとも１つのノードがその間に通信している１次タイムスロットの境界において実施されるバックオフ動作に関連する１次バックオフタイマーと、前記少なくとも１つのノードがその間に通信している２次タイムスロットの境界において実施されるバックオフ動作に関連する２次バックオフタイマーとを備える、C 1 に記載の方法。

[C 1 7]

前記信号は、

前記少なくとも１つのノードがその間に通信している１次タイムスロットの終わりににおいて前記１次バックオフタイマーを休止することと、

前記少なくとも１つのノードがその間に通信している次のその後に生じる１次タイムスロットの初めにおいて前記１次バックオフタイマーを再開することを行うようにノードの各グループ中の前記少なくとも１つのノードに指示する少なくとも１つのバックオフ動作ルールを備える、C 1 6 に記載の方法。

[C 1 8]

前記信号は、

前記少なくとも１つのノードがその間に通信している各反復２次タイムスロットの初めにおいて前記２次バックオフタイマーをリセットするようにノードの各グループ中の前記少なくとも１つのノードに指示する少なくとも１つのバックオフ動作ルールを備える、C 1 6 に記載の方法。

[C 1 9]

１つまたは複数のソフト時分割多重化（TDM）割当てフィールドを備える信号を送るように構成されたソフトTDM割当て構成要素を備え、ここにおいて、前記ソフトTDM割当てフィールドのうちの少なくとも１つが、少なくとも１つのタイムスロット中に通信するノードの第２のグループの第２の優先度レベルとは異なる第１の優先度レベルにおいて前記少なくとも１つのタイムスロット中に通信するためにノードの第１のグループに接続情報を搬送するように構成され、

前記ソフトTDM割当て構成要素が、前記第１の優先度レベルにおいて前記少なくとも１つのタイムスロット中にノードの前記第１のグループからの少なくとも１つのノードと通信するようにさらに構成される、ワイヤレス通信のための装置。

[C 2 0]

前記接続情報が、前記少なくとも１つのタイムスロット中に通信するノードの各グループのための識別データと、前記少なくとも１つのタイムスロット中に通信するノードの前記第１のグループおよびノードの前記第２のグループのうちの少なくとも１つのための拡張分散チャネルアクセスパラメータのセットと、前記少なくとも１つのタイムスロットを識別するタイムスロットパラメータとのうちの１つまたは複数を含む、C 1 9 に記載の装置。

[C 2 1]

前記識別データが、ノードの1つまたは複数のグループ中の1つまたは複数のノードに関連する識別コードと、ノードの1つまたは複数のグループ中の1つまたは複数のノードに関連する識別コードの範囲と、ノードの1つまたは複数のグループのためのあらかじめ定義された識別コードのインデックスとのうちの少なくとも1つを備える、C 2 0に記載の装置。

[C 2 2]

拡張分散チャネルアクセスパラメータの前記セットが、ノードの各グループのための最小競合ウィンドウサイズと、最大競合ウィンドウサイズと、アービトラージフレーム間スペース数と、送信機会とのうちの1つまたは複数を含む、C 2 0に記載の装置。

[C 2 3]

前記タイムスロットパラメータが、前記少なくとも1つのタイムスロットのための開始時間および持続時間フィールド、または前記少なくとも1つのタイムスロットのための開始時間および終了時間を備える、C 2 0に記載の装置。

[C 2 4]

前記ソフトTDM割当てフィールドのうちの前記少なくとも1つが、拡張分散チャネルアクセスの動作チャネルを識別する情報と、前記少なくとも1つのタイムスロット中に指定されていないノードによって使用されるべきデフォルト拡張分散チャネルアクセスパラメータと、前記少なくとも1つのタイムスロットとは異なる第2のタイムスロット中にノードのグループごとに使用されるべき拡張分散チャネルアクセスパラメータと、いずれかの指定されたタイムスロットの外部でノードによって使用されるべきデフォルト拡張分散チャネルアクセスパラメータとのうちの1つまたは複数を含む、C 2 0に記載の装置。

[C 2 5]

前記ソフトTDM割当てフィールドのうちの前記少なくとも1つが、ビーコン、プローブ要求メッセージ、プローブ応答メッセージ、関連付け要求メッセージ、または関連付け応答メッセージのうちの少なくとも1つにおいて送られる、C 1 9に記載の装置。

[C 2 6]

前記少なくとも1つのタイムスロットが、反復スケジュール上でそれぞれ繰り返す複数のタイムスロットを備え、前記ソフトTDM割当てフィールドのうちの前記少なくとも1つが周期性情報を備える、C 1 9に記載の装置。

[C 2 7]

前記ソフトTDM割当てフィールドのうちの前記少なくとも1つが、あらゆる周期中の各タイムスロット中に通信するようにスケジュールされたノードの複数のグループのうちの少なくとも1つに、あらゆる周期中のそのタイムスロットに関連する前記接続情報を搬送する、C 2 6に記載の装置。

[C 2 8]

前記信号が、あらゆる周期中の各タイムスロット中に使用すべきノードの1次グループとノードの2次グループとのための共通拡張分散チャネルアクセスパラメータを備える、C 2 6に記載の装置。

[C 2 9]

各ソフトTDM割当てフィールドが、ノードの前記1次グループとして前記共通拡張分散チャネルアクセスパラメータを使用すべきノードと、ノードの前記2次グループとして前記共通拡張分散チャネルアクセスパラメータを使用すべきノードとを識別する、C 2 8に記載の装置。

[C 3 0]

少なくとも1つのプロセッサと、

前記少なくとも1つのプロセッサと電子通信しているメモリと、

前記メモリに記憶された命令とを備え、前記命令は、

1つまたは複数のソフトTDM割当てフィールドを備える信号を送ることと、ここにおいて、前記ソフトTDM割当てフィールドのうちの少なくとも1つが、少なくとも1つの

タイムスロット中に通信するノードの第2のグループの第2の優先度レベルとは異なる第1の優先度レベルにおいて前記少なくとも1つのタイムスロット中に通信するためにノードの第1のグループに接続情報を搬送するように構成される、

前記第1の優先度レベルにおいて前記少なくとも1つのタイムスロット中にノードの前記第1のグループからの少なくとも1つのノードと通信することを行うように前記少なくとも1つのプロセッサによって実行可能である、ワイヤレス通信のための装置。

[C 3 1]

拡張分散チャネルアクセスの少なくとも1つの非同時タイムスロット中に通信すべき少なくとも1つの1次ノードを識別することと、

前記少なくとも1つの非同時タイムスロット中に通信すべき少なくとも1つの2次ノードを識別することと、

接続情報を搬送するために前記少なくとも1つの2次ノードに信号を送ることと、前記接続情報が、前記少なくとも1つの非同時タイムスロット中に通信すべき前記少なくとも1つの2次ノードのためのものであり、前記少なくとも1つの2次ノードが、前記少なくとも1つの1次ノードの第2の優先度レベルとは異なる第1の優先度レベルにおいて前記少なくとも1つの非同時タイムスロット中に通信する、を備える、ワイヤレス通信のための方法。

[C 3 2]

前記接続情報が、アクセスポイントから送られるビーコン中で搬送され、

前記少なくとも1つの2次ノードが前記アクセスポイントから前記ビーコンを受信することに基づいて前記少なくとも1つの2次ノードと通信することをさらに備える、C 3 1に記載の方法。

[C 3 3]

前記拡張分散チャネルアクセス上で動作している少なくとも1つのアクセスポイントによって、非同時タイムスロットスケジュールと、拡張分散チャネルアクセス構成情報と、2次ノードが前記第1の優先度レベルにおいて前記少なくとも1つの非同時タイムスロット中に通信することを前記少なくとも1つのアクセスポイントが許可するかどうかを識別するインジケータフィールドとを備える接続情報をブロードキャストすることをさらに備える、C 3 1に記載の方法。

[C 3 4]

前記拡張分散チャネルアクセス上で動作している少なくとも1つのアクセスポイントによって、前記少なくとも1つのアクセスポイントに関連する接続情報と、少なくとも1つのネイバーアクセスポイントに関連する接続情報とをブロードキャストすることをさらに備える、C 3 1に記載の方法。

[C 3 5]

前記少なくとも1つのアクセスポイントと前記少なくとも1つのネイバーアクセスポイントとのための前記接続情報は、各アクセスポイントのための非同時タイムスロットスケジュールと、各アクセスポイントのための拡張分散チャネルアクセス構成情報と、2次ノードが前記第1の優先度レベルにおいて前記少なくとも1つの非同時タイムスロット中に通信することを各アクセスポイントが許可するかどうかを識別するインジケータフィールドとを備える、C 3 4に記載の方法。

[C 3 6]

前記接続情報が、前記少なくとも1つの非同時タイムスロットのためのソフト時分割多重化 (T D M) 割当てフィールドを備える、C 3 1に記載の方法。

[C 3 7]

前記ソフト T D M 割当てフィールドは、2次ノードが前記第1の優先度レベルにおいて前記少なくとも1つの非同時タイムスロット中に通信することをアクセスポイントが許可するかどうかを識別するインジケータフィールドと、前記少なくとも1つの1次ノードのための拡張分散チャネルアクセス構成情報と、前記少なくとも1つの2次ノードのための拡張分散チャネルアクセス構成情報とのうちの1つまたは複数をさらに備える、C 3 6に

記載の方法。

[C 3 8]

前記ソフト T D M 割当てフィールドが、前記少なくとも 1 つの 1 次ノードと前記少なくとも 1 つの 2 次ノードとを識別する識別データのうちの 1 つまたは複数をさらに備える、C 3 7 に記載の方法。

[C 3 9]

前記識別データが、ノードの 1 つまたは複数のグループ中の 1 つまたは複数のノードに関連する識別コードと、ノードの 1 つまたは複数のグループ中の 1 つまたは複数のノードに関連する識別コードの範囲と、ノードの 1 つまたは複数のグループのためのあらかじめ定義された識別コードのインデックスとのうちの少なくとも 1 つを備える、C 3 8 に記載の方法。

[C 4 0]

前記少なくとも 1 つの非同時タイムスロットが反復スケジュール上で繰り返され、前記ソフト T D M 割当てフィールドが周期性情報を備える、C 3 6 に記載の方法。

[C 4 1]

前記ソフト T D M 割当てフィールドが、第 1 の非同時タイムスロットに関連する前記継続情報を使用している間に通信するために前記第 1 の非同時タイムスロットと 1 つまたは複数の後続の非同時タイムスロットとを少なくとも 1 つのノードに搬送する、C 4 0 に記載の方法。

[C 4 2]

前記少なくとも 1 つの 1 次ノードの前記第 2 の優先度レベルとは異なる前記第 1 の優先度レベルにおいて前記少なくとも 1 つの非同時タイムスロット中に通信する前記少なくとも 1 つの 2 次ノードは、前記少なくとも 1 つの 1 次ノードによって使用される拡張分散チャネルアクセスパラメータに対して前記少なくとも 1 つの 2 次ノードによって低減された拡張分散チャネルアクセスパラメータを使用する、C 3 1 に記載の方法。

[C 4 3]

前記少なくとも 1 つの 2 次ノードによって使用される前記低減された拡張分散チャネルアクセスパラメータが、前記少なくとも 1 つの 1 次ノードによって使用される前記拡張分散チャネルアクセスパラメータに対して、より大きい最小競合ウィンドウサイズと、より大きい最大競合ウィンドウサイズと、より大きいアービトラージンフレーム間スペース数と、より短い送信機会とのうちの 1 つまたは複数を備える、C 4 2 に記載の方法。

[C 4 4]

前記少なくとも 1 つの 1 次ノードの前記第 2 の優先度レベルとは異なる前記第 1 の優先度レベルにおいて前記少なくとも 1 つの非同時タイムスロット中に通信する前記少なくとも 1 つの 2 次ノードは、前記少なくとも 1 つの 1 次ノードのためのキャリア・クリアランス・アセスメント・エネルギー検出しきい値に関して、前記少なくとも 1 つの 2 次ノードのためのキャリア・クリアランス・アセスメント・エネルギー検出しきい値を低減する、C 3 1 に記載の方法。

[C 4 5]

前記少なくとも 1 つの 2 次ノードは、前記拡張分散チャネルアクセス上で動作しているアクセスポイントから、前記アクセスポイントが前記少なくとも 1 つの非同時タイムスロット中に通信すべき情報を有しないことを示す信号を受信し、前記信号を受信したことに基づいて前記少なくとも 1 つの非同時タイムスロット中に通信する、C 3 1 に記載の方法

。

[C 4 6]

前記少なくとも 1 つの 2 次ノードは、前記拡張分散チャネルアクセス上で動作しているアクセスポイントが、前記少なくとも 1 つの非同時タイムスロット中に所定の時間しきい値の間、1 次ノードのいずれとも通信していないと決定し、前記決定に基づいて前記少なくとも 1 つの非同時タイムスロット中に通信する、C 3 1 に記載の方法。

[C 4 7]

拡張分散チャネルアクセスの少なくとも１つの非同時タイムスロット中に通信すべき少なくとも１つの１次ノードを識別することと、

前記少なくとも１つの非同時タイムスロット中に通信すべき少なくとも１つの２次ノードを識別することと

を行うように構成された非同時タイムスロットアクセス構成要素と、

接続情報を搬送するために前記少なくとも１つの２次ノードに信号を送るように構成された送信機と、前記接続情報が、前記少なくとも１つの非同時タイムスロット中に通信すべき前記少なくとも１つの２次ノードのためのものであり、前記少なくとも１つの２次ノードが、前記少なくとも１つの１次ノードの第２の優先度レベルとは異なる第１の優先度レベルにおいて前記少なくとも１つの非同時タイムスロット中に通信する、を備える、ワイヤレス通信のための装置。

[C 4 8]

前記接続情報が、アクセスポイントから送られるビーコン中で搬送され、前記非同時タイムスロットアクセス構成要素が、

前記少なくとも１つの２次ノードが前記アクセスポイントから前記ビーコンを受信することに基づいて前記少なくとも１つの２次ノードと通信するようにさらに構成される、C 4 7 に記載の装置。

[C 4 9]

前記非同時タイムスロットアクセス構成要素は、

前記拡張分散チャネルアクセス上で動作している少なくとも１つのアクセスポイントによって、非同時タイムスロットスケジュールと、拡張分散チャネルアクセス構成情報と、２次ノードが前記第１の優先度レベルにおいて前記少なくとも１つの非同時タイムスロット中に通信することを前記少なくとも１つのアクセスポイントが許可するかどうかを識別するインジケータフィールドとを備える接続情報をブロードキャストするようにさらに構成される、C 4 7 に記載の装置。

[C 5 0]

少なくとも１つのプロセッサと、

前記少なくとも１つのプロセッサと電子通信しているメモリと、

前記メモリに記憶された命令とを備え、前記命令は、

拡張分散チャネルアクセスの少なくとも１つの非同時タイムスロット中に通信すべき少なくとも１つの１次ノードを識別することと、

前記少なくとも１つの非同時タイムスロット中に通信すべき少なくとも１つの２次ノードを識別することと、

接続情報を搬送するために前記少なくとも１つの２次ノードに信号を送ることと、前記接続情報が、前記少なくとも１つの非同時タイムスロット中に通信すべき前記少なくとも１つの２次ノードのためのものであり、前記少なくとも１つの２次ノードが、前記少なくとも１つの１次ノードの第２の優先度レベルとは異なる第１の優先度レベルにおいて前記少なくとも１つの非同時タイムスロット中に通信する、

を行うように前記少なくとも１つのプロセッサによって実行可能である、ワイヤレス通信のための装置。